



道端や木の下には様々な茸が顔を見せています。多くのキノコは木の根と共生しています。キノコの菌糸は土に含まれるリンなどを集めて植物に与え、植物は光合成で作った養分を菌糸に与えているのです。酸性雨の影響などで菌糸がダメージを受けると、この仕組みが十分働かなくなり、森の木は大きなダメージを受けることとなります。キノコがたくさん生えている森は健全だといえます。正にキノコは「木ノ子」、森の大切な一員です。



上:ジャノメチョウ 下:ヒメウ
ラナミジャノメ 両方とも草地にいます。



アオスジアゲハ

少し高いところで、木の間を縫うように高速で飛び回ります。蜜を吸う時にも翅を小刻みに動かしている。幼虫はクスノキの葉を食べます。



ハラビロトンボ (上:雄)

今年は道路端の草によく止まっています。顔面は下ののように青く輝いてきれいです。



クロイトトンボ

アスファルト上を低く飛ぶおとながりのイトトンボが見られます。濡れているアスファルトは光を反射するので、水面と見間違えて産卵しようとしていると思われます。



コシアキトンボ

見上げた時、腹の一部に白い部分のあるトンボが群れていることがあります。コシアキトンボは、ハラビロトンボとは違って止まることは少なく、長時間ホバリングを続けることが多いです。



アリアケスマレ実

道端に生えるスマレの一種です。花の季節が終わるとともに開花せずに受粉して種を作る閉鎖花がのびてきます。中には丸い種が詰まっています



上:エンマコオロギ幼虫

下:マダラバッタ幼虫



マユタテアカネおす

アカトンボの一種です。秋になってもアキアカネはほとんど見られなくなり、唯一よく見られるのはこのマユタテアカネくらいになってしまいました。



ヤブガラシ

直径 5 ミリくらいの花が平らにたくさんつきます。緑色の花びらは咲くとすぐに落ちてしまいます。花盤（オレンジ色）には蜜がいっぱいあります。



エンマムシの一種

体長 15 ミリ弱。左が頭部。触ったら足もあたまもカメのように引っ込めてしまったところ。糞や腐敗物が食べ物です。



コテングタケモドキ



ヤマドリタケモドキ

ドクツルタケ



スジオチバタケ



キツネタケ



ツノマタタケ



植物 【7/6～8の3日分】 アカツメクサ、ハルシャギク、ヒメジョン、ツユクサ、サナエタデ、ヨウシュヤマゴボウ、ヒルガオ、ナワシロイチゴ実、イシミカワ実、ブタナ、ワルナスビ・実、ヌマトラノオ、ダキバアレチハナガサ、ツボミオオバコ、オオバコ、エノコログサ、ヤブガラシ、マルバルコウソウ、ヘクソカズラ、カラスウリ花蕾、キカラスウリ開花、アフリカハマユウ、ヒメマツバボタン、ホタルブクロ、ノカンゾウ、オミナエシ、グラジオラス、イタドリ開花、ニセアカシア、ナンキンハゼ、リョウブ、ネズミモチ、ネムノキ、セイヨウニンジンボク、実(ノブドウ・アオツツラフジ、オニグルミ、ノイバラ実、ミツバアケビ、ムラサキシキブ、イソノキ、ヤマモモ実終わる、ヤマハゼ、サワフタギ、アズキナシ、オニグルミ)、**昆虫** キタキチョウ・蛹、モンシロチョウ、モンキチョウ、ルリシジミ、ツバメシジミ、ヒメウラナミジャノメ、コムスジ、アオスジアゲハ、キマダラヒカゲ、ジャノメチョウ、ヒメジャク類幼虫、(ニセ)ウンモンクチバ、キバガの一種、ヒメエグリバ、クロイトトンボ、モノサシトンボ、アジアイトトンボ♀、ハラビロトンボ雌雄、コシアキトンボ多数、マユタテアカネ雌雄、クロバエ類、ニセアシナガキンバエ、アシナガバエの一種、キンバエ類、ナミハナアブ、ヒメハラナガツチバチ、ジガバチ、クロヤマアリ、アミメアリ、ゴンズイフクレアブラムシ、ヒメカメノコテントウ、ナナホシテントウ、ニジユウヤホシテントウ、クズノチビタマムシ、セマダラコガネ、クロウリハムシ、コフキゾウムシ、シロテンハナムグリ、カナブン、エンマムシの一種、アカヒメヘリカメムシ、ヒメナガカメムシ、シロオビアワフキ巣、アミガサハゴロモと幼虫、ヨスジヒシウンカ、アブラゼミ羽化殻、ニイニイゼミ声、バッタ類幼虫(ツチイナゴ・ショウリョウバッタ・ヤブキリ・ササキリ・マダラバッタ・エンマコオロギ)、オオカマキリ幼虫、アリ地獄3、**クモ** アシナガグモ・ナガコガネグモ・イオウイロハシリグモ・ジョロウグモ・サツマノミダマシ・ヤマシロオニグモ・コガネグモ類幼体、ササグモ、ハナグモ、アズチグモ、ゴミグモと卵のう、オナガグモ卵のう、チュウガタシロカネグモ、**鳥** ツバメ、スズメ、ハシブトガラス、キジバト、コジュケイ、ウグイス声、カワラヒワ、ヒバリ、メジロ声、シジュウカラ声、コゲラ声、カワウ、カイツブリ声、カルガモ、**その他** トカゲ幼体、カナヘビ、コハクオナジマイマイ、イセノナミマイマイ、オナジマイマイの一種、ヨモギハシロケフシ、ヌルデハケイボフシ、(菌類)ベニナギナタタケ、フクロタケ、キツネタケ、カレバキツネタケ、アンズタケ、スジオチバタケ、ツルタケ、テングツルタケ、コテングタケモドキ、キイボカサタケ、ベニタケの一種、カワリハツ、キンチャヤマイグチ?、ヤマドリタケモドキ、マスタケ、

次回は、8月12日(木)午前9時30分、水資源機構P前、参加費100円 雨天中止、